月刊関複

2018 December
No.45
12

高ボッチ高原から望む富士山と諏訪湖（撮影者：北田 博章氏）

- 巻頭言　コニカミノルタジャパン　小池 良治
- 平成 30 年度第 7 回理事会
- 我が社の業務　三千和商工
- PP 取得企業紹介　ラミネックスセンター
- 「組合まつり in TOKYO」案内チラシ
- 春日出藍会総会・10 周年記念忘年懇親会

関東複写センター協同組合

Canon

imagePRESS シリーズ最高の高画質で プリントビジネスを スマートに支援します。

カタログ、アルバム、同人誌、パッケージ・・・
プロダクションプリンターの成果物に
求められる品質は日々高くなっています。
imagePRESS C10000VP/C8000VPでは、
トナー、レーザースキャナー、スクリーンなどを改良することで、
imagePRESSシリーズ最高の高画質を実現しました。
さらに、レジ精度などの画像品質も向上し、
仕上がりにこだわるお客様のニーズにスマートにお応えします。

※オプションを含みます。

imagePRESS C10000VP/C8000VP

本体価格：2,500万円（税別）
連続プリント速度：100ppm
（カラー/モノクロ・A4ヨコ片面）

本体価格：1,500万円（税別）
連続プリント速度：80ppm
（カラー/モノクロ・A4ヨコ片面）

◎オンデマンドプリンター ホームページ
canon.jp/pod-printer

◎キヤノンお客様相談センター
プロダクション向け複合機
050-555-90053
受付時間 平日9:00～17:00（土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。）

※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9626をご利用ください。※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン（株）カタログ請求「imagePRESS」係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

◆巻頭言42

釣りの思い出

コニカミノルタジャパン株式会社
小池　良治

関東複写センター協同組合の皆様こんにちは。コニカミノルタジャパン株式会社の小池と申します。この場をお借り致し、投稿させて頂きます。

今回は釣りに関する思い出話をさせて頂きます。釣りと言いましても毎週の様にまた本格的にやっている訳ではないので趣味に入るか、ぎりぎりのところでございます。

道具もさほど高いリールや竿を使っているわけではなく、店頭に並んでいるような安いセットもので楽しんでおります。ただそれでも釣れるので不思議なものです。

私は東京で生まれ育ち、近所で釣りをする場所も無く、釣りと言えば少し離れた釣堀まで自転車で行っておりました。それはそれで楽しかったのです。

また私の父が、自営業で盆暮れ以外ほぼ休みが無く、父と２人で釣りをした事が数回だったため、１つ１つの釣りが今でも鮮明に覚えております。やはり自然に囲まれた中での釣りは格別なものでした。

その感動を何とか息子にも伝えたいと思い、昨今は息子を誘い出し海つり公園に出かけております。最初の頃はゲームばかりやっていましたので、あまり釣りに興味ないのかと思いましたが、一緒に来てくれるだけでまずは良いかと、構わず自分だけ釣りに没頭しておりました。

ある時、私が仕掛けを直している間、息子にリールを巻くようお願いしたところ、何か重いよと言うので見たところ、竿先が震えている様子も無く、根がかりでもしたかと高をくくっておりましたが本当に重いと言うので、仕掛け作りを止め、巻き上げた所、なんと40センチのカレイが釣れておりました。グッドラックとはこの事かと。その晩、煮付けにして食べました。

それ以降、息子も食べられる魚釣りに感動を覚えたのか、私の釣りの誘いは断る事無く、今ではゲームもせず夢中になっております。

最近の釣り場は神奈川県磯子の海つり公園です。本牧や大黒ふ頭にもありますが、混んで入れない事が多いため釣果は落ちますが比較的空いている磯子に出かけております。本来秋口にカワハギが釣れ楽しみにしているのですが、最近は数が上がっておりません。私はやりませんがウキフカセ釣りでメジナが釣れております。

磯子海つり施設以外では川崎新堤という堤防で釣りをします。渡船を乗ってたどり着くのですが、一旦堤防に降り立ったら釣り場のみでトイレや日除けもありませんので事前準備が大切です。ここではサビキでアジが数多く釣れますのでお勧めです。

また久しぶりの沖釣りにも出かけてみたいと思う今日この頃です。いつかは息子とも。

ここまで私事にお付き合い頂き、有難うございました。今後とも微力ではございますが、関東複写センター協同組合様のご発展に少しでもお力になれるよう、努力して参る所存でございます。宜しくお願い申し上げます。

関複 平成30年度第７回定例理事会開く

各理事に組合まつりへの参加協力を要請

関東複写センター協同組合（関複、斎藤隆正理事長）は11月８日午後５時から、東京・春日の関複事務所で「平成30年度第７回定例理事会を開催した。理事、監事、相談役の14人が出席し、報告事項･確認事項などを審議した。また、理事会前の午後３時から広報企画部が主催する月刊関複に関わる編集会議を協賛会社の３社を交えて開き、11月号完成に伴う内容の確認と12月号の制作予定を話し合った。

議案審議に先だって斎藤理事長は、「10月には恒例の秋のバス旅行を実施、参加者は大いに楽しむことができました。また、明るい事務所に移転できました」と関複の行事が順調に推移できたと報告した。

議題の主な内容は以下の通り。

【審議事項】

１．組合まつりin TOKYO＝事務局報告（2019年１月30～31日の２日間、東京国際フォーラムで開催し、関複の出展は前回と同じ３メーカーと関連企業が出展を予定。また、各理事には展示ブースへ参加の協力を要請した）

２．組合案内パンフレット＝米田和秀部長（刷り上がり見本を配布し、一部内容を修正して会員に配布することを報告した）

【報告事項、各部会の活動について】

１．総務部＝亀田真司部長（10月27日の慰安バス旅行の費用明細報告と12月13日の理事会終了後に納会を行うと報告。また事務局から平成31年１月22日賀詞交歓会をロイヤルパークホテルで実施すると報告）

２．事業推進部＝森迫隆正専務理事（PP維持･更新研修の実施と予定を報告。キヤノンコレモール10月売上を報告）

３．広報企画部＝米田部長（「月刊関複」11月号の完成と12月号のスケジュール内容を報告）

４．教育情報部＝松岡豊部長（新春トップセミナーの講師を紹介。また、９日開催のジャグラ全国協議会に出席すると報告）

【その他】

１．自費出版文化賞後援のお願い＝事務局（ジャグラ主催する同文化賞に例年後援していると報告し、新年度も継続して後援することを承認）

２．新事務所移転に伴うお祝い頂き物＝事務局（協賛会社、関連団体からお祝いの花、祝い金など10社・団体から届いたと報告）

●関複･新年賀詞交歓会 平成31年１月22日（火）東京・水天宮のロイヤルパークホテル、午後４時からトップセミナー、午後５時50分から賀詞交歓会

理事会であいさつする斎藤理事長

協賛会社３社を交えて編集会議を

我が社の業務 ㉒ 株式会社三千和商工

取締役社長　家令　光国氏

コミュニケーションと発着の拠点となる本社ビルが実現

株式会社三千和商工（東京都港区新橋６－10－７ミチワビル）では、一昨年から設計に取り掛かり、昨年９月より施工していた本社ビルが今年９月に完成し、10月９日から業務を開始している。これまでの事務所を統合した本社ビルは、家令社長のコンセプトの下で、長年付き合いがある石本建築事務所が設計した、IT技術と独自のデザインが織りなすコミュニケーションオフィスである。社員が働きやすい快適なオフィス空間になっているのが特徴だ。「社員のモチベーションの向上に繋がればと思う」と、話す家令社長。本社ビルについて話を伺った。

◆設計に拘ったコミュニケーションオフィス

三千和商工は、三愛精神の「で愛、ふれ愛、つき愛」を社訓としており、その理念が本社ビルの設計にも息づいている。まずビルの正面外観はアルミ電動ルーバーを採用。屋上に設置した太陽光追尾パネルと連動し、太陽光の動きに合わせて可動する特徴がある。アルミパネルは光を透過するグラフィックパターンを施していて、社章の「M・C・W」を２種類のドットパターンで表現した趣向を凝らしたデザインになっている。

また、ビル内に吹き抜けを設けており、３階、４階にプロジェクターを設置し下の階の白壁に映像を投影できるようにした。また各階には社員の憩いの場のコミュニケーションスペースを設けた。「石本建築事務所さんには、とにかく社員のコミュニケーションを重視した設計にしてもらいました。私の想いを形に変えていただき、非常に満足のいく本社ビルになりました。」

設計を担当した石本建築事務所は、90年に渡って数々の建物や施設を設計してきた著名な設計会社。家令社長は長い付き合いもあって当初から同事務所に設計を依頼するつもりだった。

◆社員のモチベーション向上に繋がる

地上６階建て、延べ床面積978㎡のビルは、室内の洗練されたデザインもさることながら、随所にITや拘りのオフィス家具を採用している。１階は顧客とのミーティングスペース。２階から上はオフィスで、各階のフロアの照明は入口ドア横に設置したiPadで、デスクやコーナーごとに制御させることが可能。また、随所にプロジェクターを設けて映像を投影できるようにした。さらに、部署ごとにフリーアドレスやパーティションで区切ったオフィス設計や、人間工学に基づいたデザインがされたリラックスできる椅子などを採用している点も見逃せない。

「三愛精神の『愛』を英語の『I』でポジティブな活動のイメージで表し、社員が営業から戻ってくるこの場所を『i-port』（港）と名付け、社員間のコミュニケーションを活発に行い、知恵や発見が共有され、そして情報を発信していく場になってほしいと願っています」と、本社ビルをコミュニケーションと発着の拠点に位置付けたという。

今回は、沖縄県沖縄市の有限会社ラミネックスセンターを紹介します

地域ハンディを解決できるプライバシーポジションでアピール

【会社名】有限会社 ラミネックスセンター
【代表者】代表取締役社長　徳門　聡佳
【住　所】沖縄市上地２丁目９番６号（本社）
【電　話】098－932－1234
【ＦＡＸ】098－933－2001
【E-mail】koza@laminex-c.jp

PP認定取得に至った経緯

当初、弊社はプライバシーマーク（以下Pマーク）を取得していました。いざ更新手続きの時期になると、審査料、更新手数料、Pマーク使用料、審査員の渡航費＋宿泊費などを含めると多額の費用が発生し、都心部に比べると地方は、更新に掛かる費用が３割以上も多く支払うことになります。そこで、以前から知っていたプライバシーポジション（以下PP）の取得に切り替えたということになります。

もちろん、PPは取得まで掛かる費用が安いというのもありますが、維持費の部分で考えても、非常に安価に抑えられているところにメリットを感じています。

また、以前Pマークを取得していた社内規定を生かしつつ、PP取得でしたので、移行はスムーズに出来ました。

PP取得後の取組みについて

現在、弊社の取扱商品の中で、全国展開をしている商品があり、ますます個人情報の取り扱いには、慎重を期す状況になっています。今後は、PPを取得したことで、お客様に安心して頂けるツールとして活用し、日々の営業活動に活用していきたいと思っています。

また、今回、PPはかなり安価な金額で取得することが出来ました。本来ならば、Pマークを更新する費用を想定していたので、浮いた差額でネットセキュリティー強化やホームページのリニューアルに費用を掛けることができたのは、非常に助かりました。

今後は、多くの企業にPPを知ってもらい、PPの優位性をアピールしていきたいと思っています。

有限会社　ラミネックスセンター
代表取締役社長　徳門 聡佳

RICOH
imagine. change.

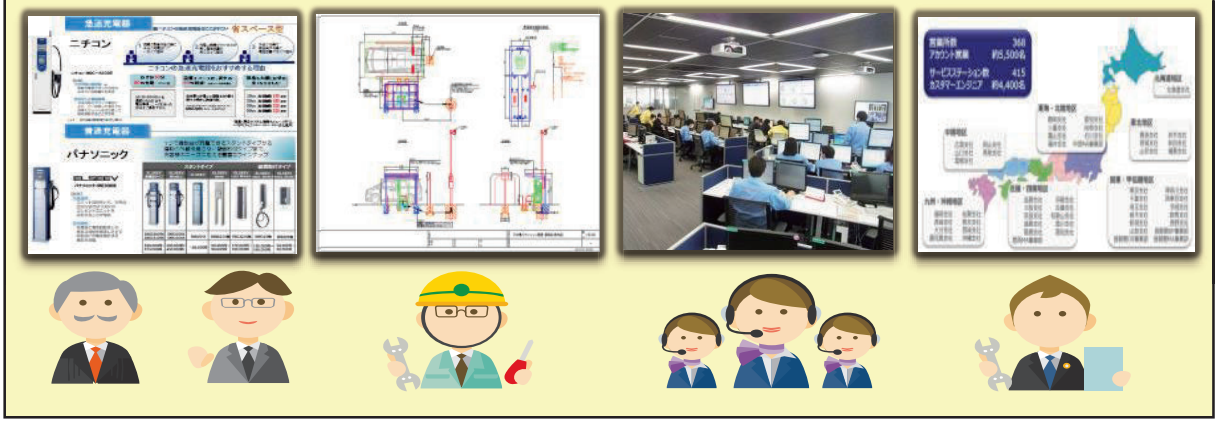
SDGsへの貢献！
リコーの社会課題解決取組み紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地球温暖化ガス削減による低炭素社会実現を目的とした電気自動車の導入を促進するため、ＥＶ充電器トータルサポートに取り組んでいます。

EV・PHV充電器の販売・施工・運用・保守をワンストップでご提供致します。

販　売	施　工	運　用	保　守
導入のご相談	設置/施工サービス	センターサービス	オンサイトサービス



電気自動車（EV/PHV）の充電設備には、急速充電器と普通充電器の2種類があります。　(EV＝Electric Vehicle　PHV＝Plug-in Hybrid Vehicle)

急速充電器

30分で80%（50kWモデル）の充電ができるので、短時間の滞在場所に適しています。

・スーパー
・コンビニ
・ホームセンター
・金融機関など

普通充電器

フル充電には7～8時間かかるので、長時間滞在する宿泊施設などに最適です。
また、1～2時間程度の滞在時間の場合、継ぎ足し充電での利用が見込まれます。

・ホテル
・旅館
・ショッピングモール
・ファミレス
・総合病院など

キヤノンMJの提案　㉘

IGAS2018 キヤノンブース　レポート②

ワークフローシステムとプリンターがもたらす新たな「価値」

～IGAS2018で印刷ビジネスのさらなる拡大を支援～

大型イベントに向けてニーズが高まる屋外掲示物

～「サイン＆ディスプレイ」 コーナー～

大判プリンターが出力した印刷物でブースの壁面や床などを装飾し、2019 年、2020 年と続く、国際的なスポーツイベントに向けた活用を提案。ここで多くの来場者の注目を集めていたのは、64 インチ UV 硬化型大判プリンター「Colorado 1640」の印刷デモンストレーションでした。従来の UV プリンターは噴射と硬化を何回も繰り返す方式で、印刷に時間がかかるという欠点がありました。本機は硬化を一気に行うため、スピードが飛躍的に向上（高品質モードで 40 平方メートル／時）。大判ポスターや塩ビシートが素早く出力され、その場で触れてもインクが手につかないことなど、本機の特長をわかりやすく展示しました。

UV 硬化型大判フラットベッドプリンター「Arizona 1280GT」のコーナーでは、UV インクを使った隆起印刷ソリューション「Touchstone」の参考展示が行われていた。これは、木目やタイルのテクスチャー（凹凸）表現やメタル感、エンボス調といった効果を出すためのソフトウェアで、隆起印刷には複雑な工程が必要ですが、本ソリューションはデータ作成から印刷までをワークフロー化し、簡単な操作で隆起印刷を可能にします。

印刷業界における「働き方改革」の実現に貢献する

～「ファクトリーオートメーション」 コーナー～

省力化によるコスト削減と自動化による生産効率化を実現するための提案として、「無駄・手間・ミス」を削減して収益性を高めるプリンティングワークフローを実演形式で紹介。「ポストカード生産フロー」では、人手のかかるピッキング、仕分け作業までを省力化するソリューションとして、「Web ブラウザ上の操作による注文～受注の効率化」「生産準備／面付の自動化・配送ラベル印刷システム連携」「印刷設定の自動化」「断裁の自動化」「逆引き納品書出力という、一連の流れを「imagePRESS C10000VP」と印刷管理システム「Production Print Flow Manager（PPFM）」との連携を中心に再現しました。

カラフルなカードを注文情報に基づいて作成、加工、仕分けするラインを操作するのはキヤノンの新入社員たち。印刷業界は、熟練した職人技に依存しがちな一面もありますが、印刷業の経験のない彼らがテキパキと作業を進める姿は、来場者にも大きなインパクトを与えていました。

もう 1 つの「ブックライン生産フロー」では、オンデマンドで注文された一冊単位の本をミスなく簡単に生産できる工程として、「見積、受注、生産、配送、請求の一元管理」「ジョブ管理と注文管理の両立」「印刷設定の自動化」「加工機の設定とセット替えの自動化」を、モノクロプリンターの「varioPRINT140」、カラープリンターの「imagePRESS C850」を中心に紹介。「PPFM」と連携した一元管理の工程を再現するほか、後加工でミスが発生するとコストが上昇する書籍においてホリゾン社やデュプロ社の機器、ソリューションとも連携し、「ミスを発生させない」「発生しても戻りやすい」仕組みを構築しました。

「マテハン機器連携」コーナーでは、会場で印刷された製品の梱包・仕分け作業の効率化を図るための協力企業の機器を紹介。出荷に必要なバブルシート包装、配送表ラベリングを行うダイワハイテックス社の「自動メール便梱包ライン」、そして、印刷物をトレーに置くだけで自動仕分けする椿本チエイン社の「つばきリニソート S-C」との連携が展示され、省力化につながる取り組みを示しました。

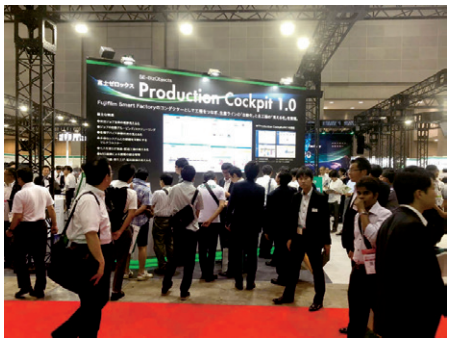
富士ゼロックスの提案 ㉘

スマートファクトリーの実現に寄与する次世代生産管理システム SE-BizObjects Production Cockpit 1.0

富士ゼロックスは7月に開催された国際総合印刷テクノロジー＆ソリューション展IGAS2018において、効率的な生産を実現する工程管理システム、SE-BizObjects Production Cockpit 1.0をリリースしました。連携による情報の統合化により、複数ジョブの工程間の滞留を解消し、生産効率の最大化を目指した生産状況の可視化、印刷工程の自動化、システム生産管理システムです。

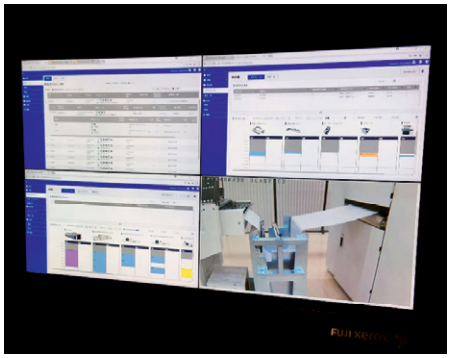
昨今、印刷物の小ロット化・多品種化・短納期化が進む中で、印刷業界は増加する作業量の割に利益は伸びていないという状況に直面しています。また人手不足も厳しさを増し、十分なだけの人材を確保するのは難しくなっています。このような状況下でビジネスを拡大していくには、生産効率の改善がカギとなります。
従来のワークフローは部分最適型であり、印刷、製本、検品、配送と各工程単位での改善を目指したものでした。しかし、前後の工程との連携が十分でないために、工程間での不整合やミス、滞留などが発生し、工場全体での生産性の向上に繋げることに難しさがありました。本来であればMIS（ワークフロー全体を制御する経営情報システム）がその役割を担うのですが、プリンターや後加工機など各システムの接続言語にメーカーごとの制約があり、それらを統合することが困難なことからデバイスを制御する作業指示書にあたるJDF（Job Definition Format）も普及には至りませんでした。
SE-BizObjects Production Cockpit 1.0は、これらの部分最適にとどまっていたワークフローを統合し、全体最適を実現する次世代生産管理システムです。

IGAS2018の会場では、ホリゾン社のブースに設置された同社製の後加工機とダイレクトに接続し、ポストプレス工程での生産状況までをリアルタイムに見える化するデモンストレーションを実施しました。分断されていたプリンターと後加工機、それぞれの工程がSE-BizObjects Production Cockpit 1.0によって統合され、印刷～後加工～検品～配送までの生産状況や生産余力などまでが一元的に管理される様子に、展示ブースは大盛況。「今までのお困りごとが解消できるシステムがようやく登場した」「本格的なスマートファクトリーへの道筋が見えてきた」と各方面の専門誌にも取り上げられるなど、IGAS2018随一の注目アイテムとなりました。



IGAS2018でのブース展示の様子

SE-BizObjects Production Cockpit 1.0は、海老名にこの春開設されたFuture Edgeにも展示され、お客様と自社のスマートファクトリー化へ向けた検討のためのワークショップや検証も多く行われています。
生産効率の向上に関してお客様が実際にお持ちの様々な課題と向き合う、こうした活動を通じてSE-BizObjects Production Cockpit 1.0は日々進化を続けています。


Future Edgeに展示されている
SE-BizObjects Production Cockpit 1.0

中小企業世界発信プロジェクト2020
中小企業パワーを東京から世界へ!

東京および全国の中小企業組合が大集結!

組合まつり Kumiai Matsuri in TOKYO

ー中小企業の魅力発信!ー

東京国際フォーラム

2019 1.30(水)-1.31(木)

入場無料

主催 東京都中小企業団体中央会

後援 東京都　公益財団法人東京都中小企業振興公社　東京商工会議所 東京都商工会議所連合会
東京都商工会連合会　株式会社商工組合中央金庫　一般社団法人東京都信用組合協会
株式会社日刊工業新聞社　全国中小企業団体中央会

お問合せ先
東京都中小企業団体中央会　振興課
TEL:03-3542-0040

場所:東京国際フォーラム　ホールE　日時:1月30日(水) 10～19時 / 1月31日(木) 10～17時

本事業は中小企業世界発信プロジェクトの一環で実施しています。

ジャグラ「全国協議会」を開催し、セミナー・テーブルディスカッション・表彰式を

全国から地協会長・支部長ら85人が出席
関複から斎藤理事長と松岡部長も参加

日本グラフィックサービス工業会（ジャグラ、中村耀会長）は11月９日午後１時から、東京・水道橋の東京ドームホテルで「ジャグラ全国協議会」を開いた。これには中村会長はじめ副会長、理事、監事、地方協議会会長、支部長ら総勢85人が出席。セミナー、テーブルディスカッション、表彰式など盛り沢山の行事をこなし、ジャグラ会員の個々の企業基盤の強化を追求した。懇親会も行われ、翌日の10日午前中もM&Aセミナー２題とテーブルディスカッション総括などが行われ、関複理事の松岡豊教育情報部長が参加した。

ジャグラは２日間にわたって精力的に、熱心に会員企業の強固な経営基盤づくりの行事に取り組んだ。なお、協議会に先立って理事会を開催した。協議会ははじめに中村会長があいさつに立ち、会長就任以来＂強いジャグラ＂を標榜し進めてきた経緯を振り返り、個々の企業の経営基盤の確立を目指す＂強いジャグラ＂構想について新たに、「逞しさ」と「軽やかさ」を加えた強靭な経営基盤の構築を訴えた。さらに中村氏はジャグラの財政状況の今後の明るい見通しを報告した。

その後協議会は、２日間の行事進行役の座長を指名。それぞれ担当の副会長を発表し、行事を進めた。協賛企業のセミナー実施を今回からの協議会で初めて行った。

協議会に先立って開催した理事会

協議会のメインイベントであるテーブルディスカッション（150分）は８つのテーマごとに各テーブルに分かれ、ジャグラ会員企業が抱える現実的な喫緊の課題について熱く議論を交わした。これには、関複から松岡豊教育情報部長が出席した。

終了後、「年賀状デザインコンテスト」表彰式（経営革新委員会）と「InDesignとIllstratorマイスタージャグラコンテスト」表彰式（教育・技術委員会）が華やかに行われた。つづいて来年６月７～９日に栃木県宇都宮市のホテル東日本宇都宮をメイン会場に開かれる第61回ジャグラ文化典全国大会「栃木大会」の岡澤誠関地協会長（運営委員長）と宮本誠栃木県支部長（実行委員長）のアピールがあった。

テーブルディスカッションでは熱い議論を

春日出藍会総会・10周年記念忘年懇親会を開催

春日出藍会（細井大建会長）は11月27日午後６時から東京・両国のちゃんこ霧島で「決算総

会・10周年記念忘年懇親会」を開催した。会員34人中29人（本人出席16人、委任状提出13人）が出席した。同会は関複のOBが主体となって発足した会で、OBと現役の懇親を目的に、普段会えない同士の交流を図る会としている。

総会では、細井大建会長のあいさつに続き細井武氏が議長に就き、2019年度活動方針（会員増強、広報･宣伝の充実など）、年間行事計画案（毎月１回の実施計画など）、概算予算案（収入：会員34人年会費など、支出：会報・広報・慶弔費など）を審議し、すべて原案通り拍手で承認した。

総会終了後、10周年記念忘年懇親会に入り後藤眞氏の乾杯で賑やかな祝宴となった。９時過ぎに細井武氏の３本締めでお開きとなった。

10周年記念忘年懇親会で記念撮影を

DSF全国発表大会に32社62人出席

6研究会の活動成果発表と特別講演も

あいさつする林田会長

富士ゼロックス（FX）のユーザー組織であるドキュメント・サービス・フォーラム（DSF、会長・林田桂一東京文久堂社長）は11月２日午後１時15分から、横浜市・みなとみらいのヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルで「2018年全国発表大会」を開いた。32社62人が参加した。

62人が参加し盛況に

林田会長は冒頭あいさつに立ち、持論のデファクトスタンダードの確立を訴えた。高木純富士ゼロックス常務執行役員はDSFの提言に感謝するとともに、この10月から販売体制が変わり、グラフィックコミュニケーションサービス（ＧＣＳ）営業部として一本化されたと報告した。

高木常務執行役員

その後、ＯＤＰグラフィック研究会、デジタルマーケティング研究会、営業戦略研究会、Flee Flow研究会、経営者の会、社会貢献活動などの６

講師の堀氏

麻生執行役員

研究会が１年間の活動成果を発表。NYカンパニーの吉岡七五三氏がアドバイザーあいさつを行った。

特別講演では、アルパイン社アドバイザーの堀重和氏が「EV（電気自動車）化に伴う自動車業界100年に一度の大変革」のテーマで講演を行った。つづいて富士ゼロックスの麻生修司執行役員があいさつを行い、PODのプリントボリュームの増加など市場の成長、新製品の売れ行き状況などFXのトピックスを紹介した。最後に、白橋社長の白橋明夫氏が閉会のあいさつを行った。

「キヤノンiPカレッジin品川」11月度を開催

“実践するためのダイレクトマーケティング講座”がテーマ

キヤノンマーケティングジャパン（キヤノンMJ）は11月15日午後２時から東京・品川のキヤノンSタワーで11月度「キヤノンiPカレッジin品川」を開催した。テーマは“実践するためのダイレクトマーケティング講座”に２部形式で講演をおこなった。

第１部では、フュージョン社・営業グループ営業２部の吉川景博部長が『デジタル×紙メディア×マーケティングの可能性』（再評価されているDMの訴求力）の演題で、①マーケティングトレンド、②DMメディアの「特徴」と「訴求力」、③DMの企画・提案のポイント―の３点に事例を交えて紹介した。

また、吉川氏は印刷業界にとってデジタル化の波は脅威でも、紙メディアはお客様にとって重要な情報源だと訴え、その１つにDM（ダイレクトメール）は強力な「行動喚起メディア」だと締めくくった。

DMの訴求力を強調する吉川氏

MAについて講演する菅氏

第２部には、シャノン社・マーケティング戦略コンサルティング部の菅純子部長が、「『デジタルとアナログ』を融合した効果的なOne to O

多くの出席者を得て開催

neマーケティングの実現」の演題で、第１部の吉川氏が訴えた演題に近い「デジタルだけでは、解決しにくい課題」として、MA（マーケティングオートメーション）の役割と現状について講演した。そして菅氏はDMはがきと名刺管理情報の重要性を活用事例を交えて紹介した。

リコージャパン　全国複写リコー会
「第８回次世代経営研究会経営セミナー」を開催

リコージャパン（坂主智弘社長）は、同社の顧客で複写事業を営んでいる企業で組織されている全国複写リコー会は11月２日午後２時から、大阪市中央区のリコージャパン・プリンティングイノベーションセンター関西（PIC関西）で「第８回次世代経営研究会　経営セミナー」を３部形式で開催した。参加者は同会所属企業の若手経営幹部を対象に開かれ、参加者同士の交流も積極的に行われた。

第１部の経営セミナーでは、レック社の高橋泉社長が『業界に新風を吹き込む、ユーザー目線の新事業挑戦』のテーマで講演した。高橋氏は、平成元年に神戸で28歳のとき会社を興し、婚礼アルバム事業からメッセージ（電報）事業、ファミリー葬事業、ブライダルカフェ事業など冠婚葬祭に関わる新規事業を次々と立ち上げた。

さらに創業時に掲げた目標①全国展開、②100億円企業、③子供を留学させる、④母親に家を買う―を達成できたと述べ、平成25年度にはおもてなし経営企業選に選出され、同年がんばる中小企業・小規模事業者300選にも選ばれた。また、高橋氏は講演の中で、「自分がお客様だったら」という観点から、「社会的価値があるか」「誰も手を出していない新しいことか」「時代の流れに合っているか」の３点を新規事業に取り組むための判断基準にしていると語った。

講演する高橋氏

第２部のリコータイムは、リコー商品の実演とともにお客様が持ち込んだデータを、デジタルプリントで出力した成果品を紹介した。

第３部の交流会は、別会場に移り参加者は積極的にお互いの情報交流を図った。

全国の複写リコー会の組織は、北海道地区『はまなすリコー会』、関東地区『情報ビジネスリコー会』、近畿地区『リコー創青会』、九州地区『九州リコー線技会』と４組織で活動している。

参加者は熱心に聴講した

リコータイムでは成果商品を紹介

労働問題

株式会社コンサルティング・オフィス
代表取締役　神田幸男（中小企業診断士）

「働き方改革」へ労働基準法等改正

2019年４月、日本の労働基準法が変わります。「働き方」という日本の企業文化に対する改革を求める内容となっています。これにより、各企業も働くためのルールである就業規則の見直しに着手する必要があります。

労働基準法は強行法規です。つまり、労働者と使用者の間で労働条件について合意していたとしても、その合意事項に関わらず、守らなければならない基準を示しているのです。この労働基準法の改正により、使用者には新たに『やらなければならない』ことができることとなります。ここでは、その『やらなければならない』ことを簡単に整理します。

１．残業時間の上限規制

日本企業では、「働きすぎ」「過労死」「うつ病」という長時間労働によるマイナスイメージが広がっていました。

これまでは、残業させるならば、企業が労働者の代表と36協定を締結して労働基準監督署に届出ることで可能となっていました。また、上限の制限もありませんでしたが、2019年４月に改正される労働基準法では、残業時間について上限制限（原則として、１ヵ月あたり45時間、１年間360時間）が定められることになりました。

さらに特別条項の協定を締結すれば、年に６ヵ月までは納期やクレーム処理などの臨時的な特別事情がある場合、限度時間を超えて労働させることが可能となります。

「働き方改革」を意識した改正労働基準法においては、以下の３点がポイントにあります。

（１）臨時的な特別な事情がある場合でも、限度時間は720時間を上回れない
（２）休日労働を含み、月100時間を超えない
（３）２～６ヵ月の期間いずれも、休日労働を含め月平均80時間以内とする

（１）～（３）の内容を就業規則に明示する必要がありますし、もし、この限度を超えてしまうと新たに規定される罰則の対象となってしまいます。各企業については、改正労働基準法の施工後は、新たな36協定を締結する必要があります。

2. 年次有給休暇の時季指定義務

労働基準法の第39条では、企業が一定日数年次有給休暇を、労働者に対して与えることが義務付けられています。現状、日本の有給休暇取得率は49.4％ですが、世界的に見ると取得率が低い現状から法案化がなされました。

今回の改正労働基準法においては、有給休暇が10日以上付与されている労働者に対して、付与された日から１年以内の期間に最低５日間の有給休暇を取得させなければならないことになりました。５日間については、１年以内の期間内であれば、連続・分割どちらの取得も可能です。

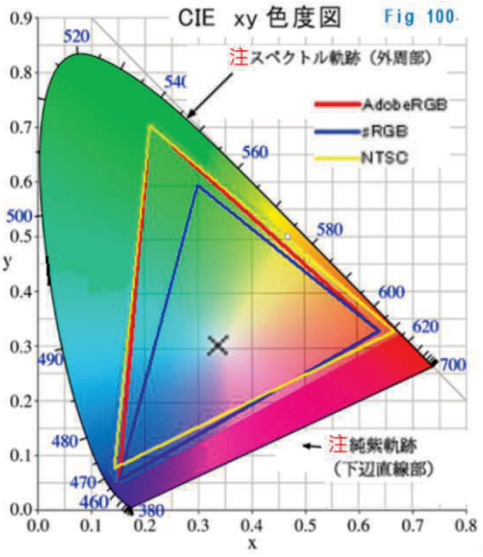
取得させてない企業については罰則の対象となります。

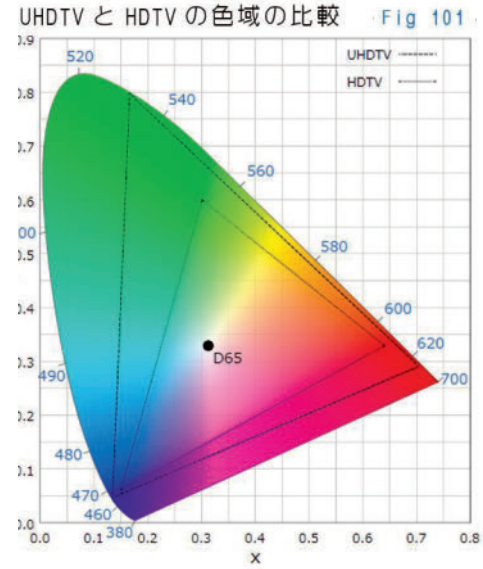
複写を考える㊽　（複写業を中心とする　複写の歴史）

細井　大建

色度図上で再現できない色

CIE XYZ 表色系の xy 色度図（前頁 Fig99 の続き）。スペクトル軌跡と、純紫軌跡で囲まれた部分が人の肉眼で視認できる色の範囲を示していますが・・・。





色域を定めた規格の sRGB、Adobe RGB、NTSC などの色の範囲は、おおむね RGB の頂点座標を結んだ三角形で表されるといわれます。（NTSC とは、全米テレビョン放送方式標準化委員会）液晶ディスプレイの「ハードウェア」としての色域も同様の三角形で図示できますが、その色域を超える色は画面上で再現（表示）できないとあります。

しかし技術は日進月歩ハードもソフトも進歩します。目盛りが同じでないので比較がしにくいでしょうが、Fig100 の NTSC と Fig101 の HDTV(高精細度テレビジョン 4K）と UHDTV（超高精細テレビ 8K Rec.2020）の表現できる三角形の広さを比較してみれば、進歩の跡を見ることができます。（テレビの色再現）モニターでは現在、Rec.2020 の色再現域を 100％カバーするのはまだ難しいとのことです。

カラー印刷やカラーコピーでの色再現では、それに紙自体の地色が関係してくるのだからもっと大変ですが、どこまで進歩することやら。ここまで行くと、関複は大変恵まれた環境下にいることに気付くでしょう。世界的な色再現の権威者が大勢います。担当者もさることながら、その社内には世界的権威者がごまんといます。そこをいけしゃあしゃあと、よく書くねと、我ながら思いますが、日立のカラーが出た時代を知るものとして隔世の感を感じながら次へ進めます。

Fig98～FIG101 の図は Wikipedia 色空間を参考

『月刊関複』表紙掲載写真ご提供のお願い

月刊『関複』では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様の協力で投稿頂いております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題　　材：フリー
撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能
※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい
送 付 先：メールにて以下へ送付して下さい
kjun@keyo.co.jp
※写真は横長タイプを推奨します

■今月号の掲載写真

高ボッチ高原から望む富士山と諏訪湖
撮影者：北田 博章氏

11 月号：北田 博章氏
秋の上高地

10 月号：北田 博章氏
仙石原のすすき

9 月号：北田 博章氏
燕岳

お知らせ

「平成30年11月・会員名簿」の訂正とお詫び

平成30年11月発行の「会員名簿」において、P 56 渋川善之 様とP 58 井寛明 様に「故」と誤って記載してしまいました。

ご本人様と関係者の皆様に深くお詫びするとともに、今後二度とこのようなことがないよう十分に注意いたします。大変申し訳ございませんでした。

関複事務局

関東複写センター協同組合月刊誌
月刊関複 第 45 号
平成 30 年 12 月 1 日発行

購読料／年間購読 6,000 円（消費税・送料込む）
1 部 500 円（税込み・送料別）

編集発行人：**関東複写センター協同組合**
広報企画部 月刊関複編集委員会

発 行 所：**関東複写センター協同組合**
住　所　〒112-0002
文京区小石川 1-4-12
文京ガーデン ザ ウエスト 704号室
ＴＥＬ　03-3815-4338
ＦＡＸ　03-3815-4357
Ｅメール　info@kfcc.or.jp
ＵＲＬ　http://www.kfcc.or.jp

印 刷 所：**株式会社ケーヨー**

KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

真のプロダクション印刷システム

- 高品質で多彩な印刷物の提供
- 高水準の画像品質を安定供給
- マシンの生産稼働率向上
- スキルレスオペレーション
- 合理的な出力環境の構築
- 印刷物の付加価値向上に寄与

新開発のインテリジェントクオリティオプティマイザー

印刷生産機としての実稼働率の向上、より高い品質の印刷物をより確実に、安定して供給。そしてそれらをスキルレスでのオペレーションで実現する。プロダクション印刷システムの基本性能向上に拘った真の生産機、それが、AccurioPress C6100シリーズです。

AccurioPress C6100/C6085

- 色管理・表裏見当調整を自動化
- 用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力
- 受注幅を拡大する400g/㎡の厚紙対応力
- 独自技術を駆使した高画質と色安定性
- サービスの多様化を推進するフィニッシャー群

※1：C6100にて、A4ヨコ・52～400g/㎡紙時

＊写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

●商品に関するお問い合わせは 0120-805039 受付時間／9:00～12:00・13:00～17:00（土、日、祝日を除く）

http://www.konicaminolta.jp

オンデマンドで、メタリックの世界へ。

業界初*、1パス6色プリントエンジンが、魅力的で訴求力に優れたメタリックカラーを、オンデマンドでスピーディーに実現します。ゴールド、シルバー、ホワイト、クリアーの特殊トナーから最大2色を選択し、CMYKトナーを組み合わせることで、多彩な印刷表現を実現。プリントビジネスの可能性をより鮮やかに広げます。

＊乾式電子写真方式。2017年10月現在。

イリデッセ プロダクション プレス
Iridesse™ Production Press

写真はオプション装着時

富士ゼロックス株式会社　www.fujixerox.co.jp
ご意見、ご相談などはお客様相談センターへ。0120-27-4100　受付時間 9:00〜12:00 / 13:00〜17:00（土・日・祝除く）
Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

FUJI Xerox

ようこそ、可能性。

RICOH
imagine. change.

商用印刷や企業内印刷の最前線では、あらゆるシーンに可能性がひそんでいます。

プロの現場の期待に応えるのは、さらなる高品質と用紙対応力を磨きあげた RICOH Pro C5200S シリーズ。

この 1 台から、新たな付加価値を生み出すステージが始まります。

RICOH Pro C5210s/C5200s

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

※写真はRICOH Pro C5210S にオプションを装着したものです。

プロ、体感。

RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース お問い合わせ：050-3534-2121
RICOH Pro をはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧いただけます。また DTP セミナーも定期的に開催中。

※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。

この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。

＊ iPhone/iPad/Android™ アプリケーション『RICOH CP Clicker』(無料)をダウンロードし、広告を撮影（クリック）すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧いただけます。

株式会社リコー　〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。